



- 上右上/玄関に入ると、正面にはお客様用の和室、右はシューズクローク、左はリビング。昔ながらの土間を思わせる雰囲気新鮮さを感じさせる。
- 上右下/ロフトを設置した子ども部屋は遊び心をくすぐる。将来的には2部屋に仕切ることができる仕様。
- 上左/玄関を包み込み車も入る広いピロティ、リビングの南面に施したウッドデッキ、その横にはフルオープン窓のサンルーム、和室部分の丸窓など、多彩な表情を醸し出す草本邸外観。

- 左/日田杉浮づくりの床、調湿効果に優れた漆喰壁、土佐和紙を採用した天井といった自然素材に包まれたLDK。
- 下/ダイニングで寛ぐ草本さんご家族。窓際に設けたカウンターは、今は子どもたちの勉強机として活躍。



日田杉の安らぎと 機能性の高さが集約

日田市 草本邸

「森の「コテージ」を思わせる、温かみのある家が理想でした」と笑顔で話す奥様。木目調サイディングの外壁や室内に多用された日田杉のぬくもりが自然を感じさせ、林業の仕事をされているご主人も心落ち着く日々を過ごしています。これまで住んでいた実家が天井が低くて、光が入りづらかったため、住まいの顔であるリビングは明るい空間にしたいとの思いからご主人の希望で吹き抜けを設けました。高い位置に配した3つの窓からLDKへ光が差し込み、家族の時間を明るく照らしてくれます。

奥様が新居に住み始めて気に入っているのは、自然の風合いや開放感のみならず機能性の高さ。「できるだけ見た目にシンプルな空間をつくりたかったんです」と言葉通り、キッチン是对面式でオープンでありながら、ダイニングの方面からは調理している手元が見えないよう高さを調節した仕様に。食器や料理家電がすっぽりと納まるスライド式の収納も、見た目にスッキリとした印象を与えてくれます。また仕事をされている奥様が家事の時短と負担軽減を念頭に、洗面所とランドリールーム、サンルームの動線を一直線状に配置。家事をスムーズにした空間づくりが日々の生活を効率よく助けてくれています。希望どおりの新しい生活は、家族の笑顔に包まれた安らぎの毎日となっているようです。